

サリドマイド被害者の健康・生活実態調査 2018

主な結果について

- * これは、第3回サリドマイド胎芽症研究会で発表した内容をベースに、論文に掲載した内容や渡欧の際、海外の専門家に呈示した内容などを付け加えたものです。

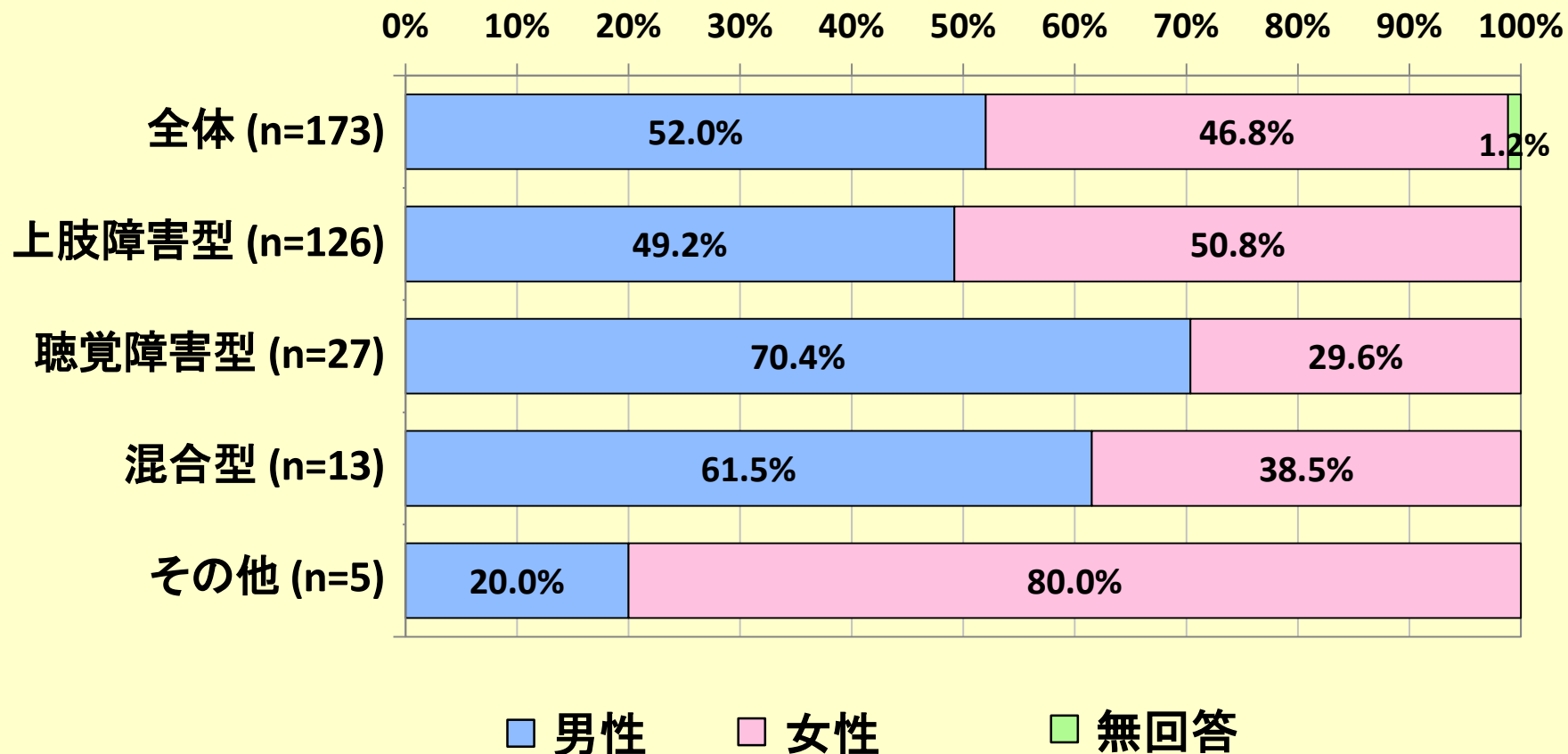
厚生労働省 医薬品医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業
「サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築」研究班長
国立国際医療研究センター病院 腎臓内科

日ノ下 文彦

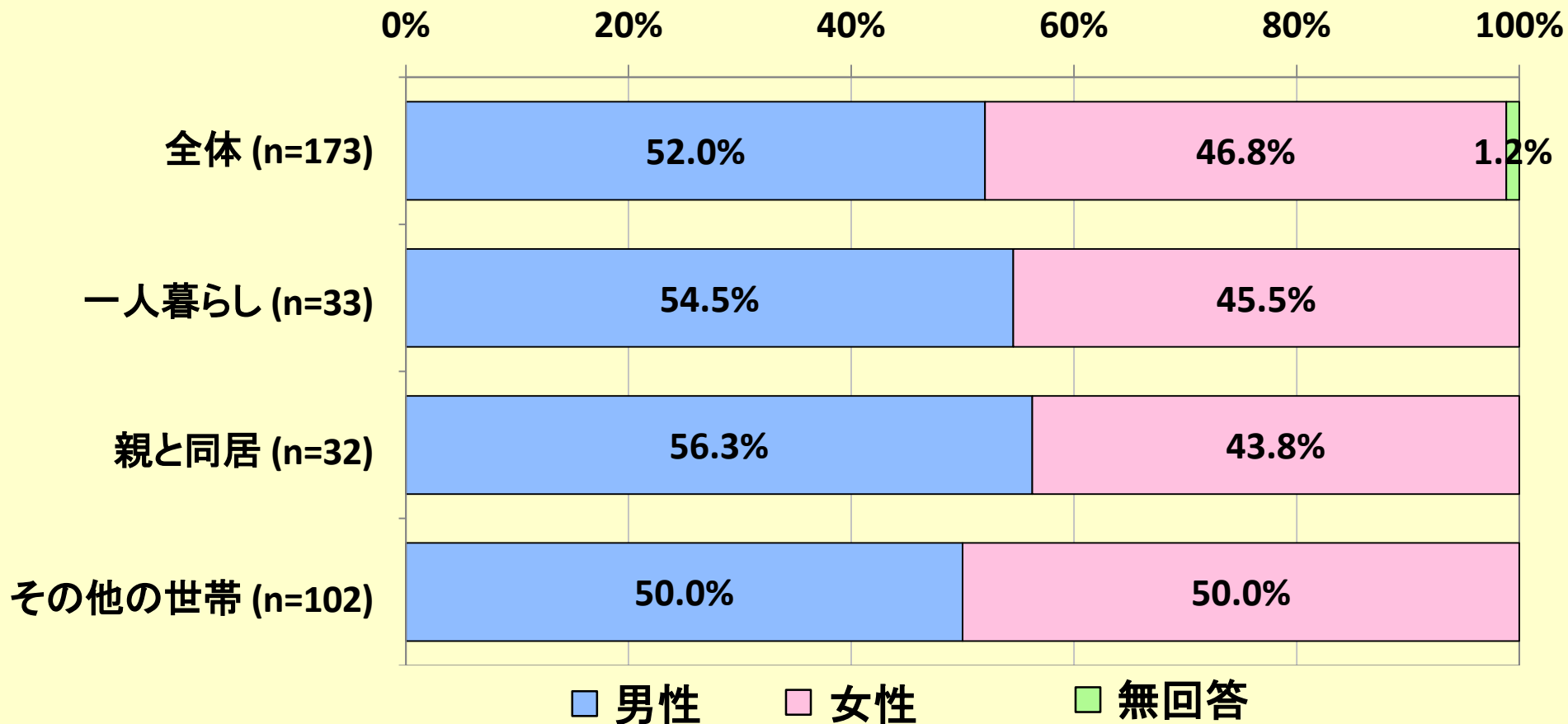
アンケートの配布と回収

現在「いしずえ」が連絡先を把握している 274 名のサリドマイド被害者にアンケートを送付し、173 名の方から回答を得ました（回収率 63.1%）。ご協力ありがとうございました。173 名の内訳は男性 90 名、女性 83 名で、平均年齢 55.2 歳（53～58 歳）でした。アンケートの回収は、2017年12月から始まり2018年2月には終わっています。アンケートの質問に対する回答では、2017年12月現在の状況を記して頂きました。なお、アンケートの内容は厚労省が実施している国民生活基礎調査に準じたものとなっています。そして、被害者の回答結果は、同調査でほぼ同年代の55歳から59歳の年齢層の結果と比較するようにしました。

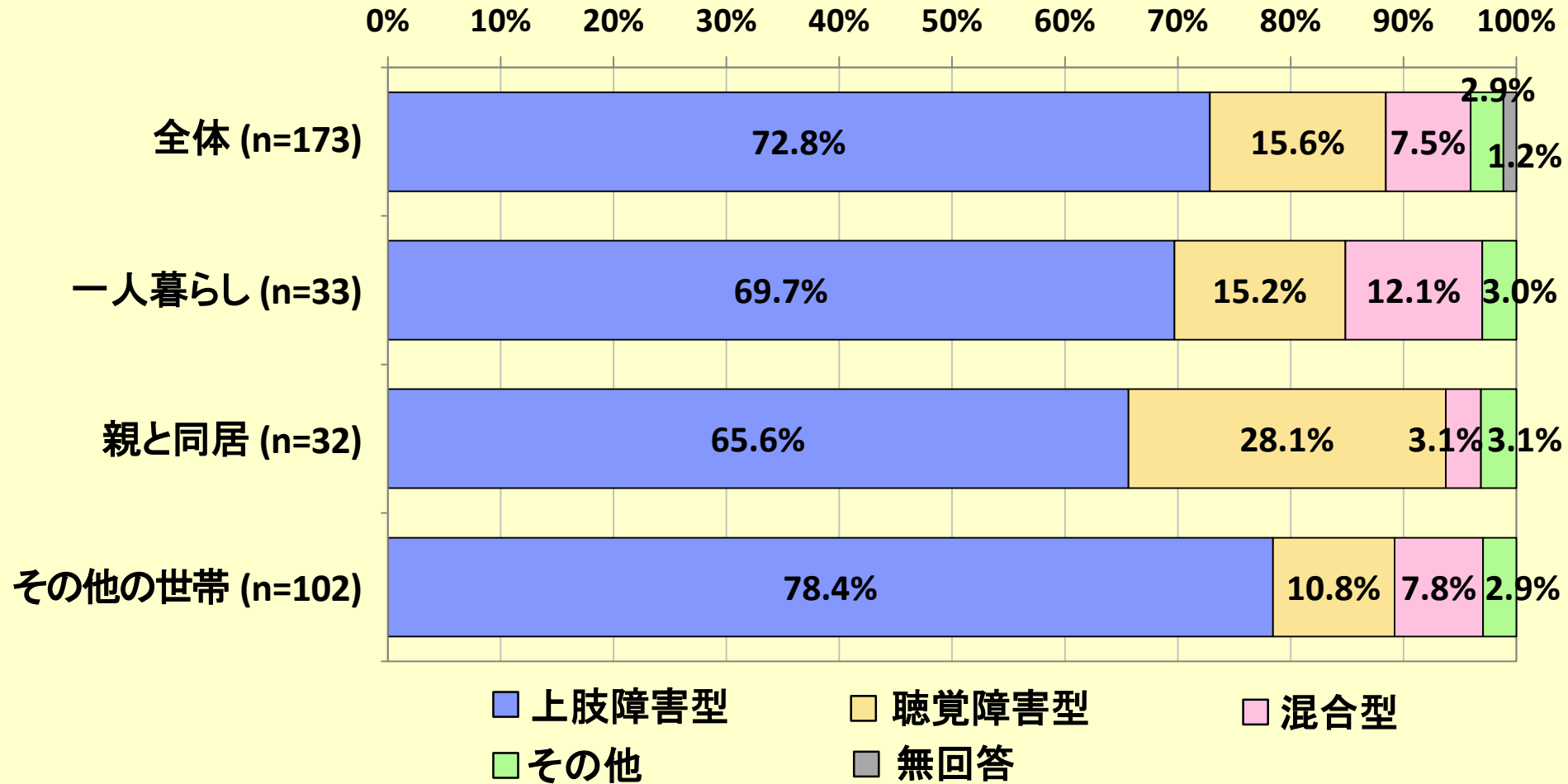
サリドマイド胎芽症のタイプ



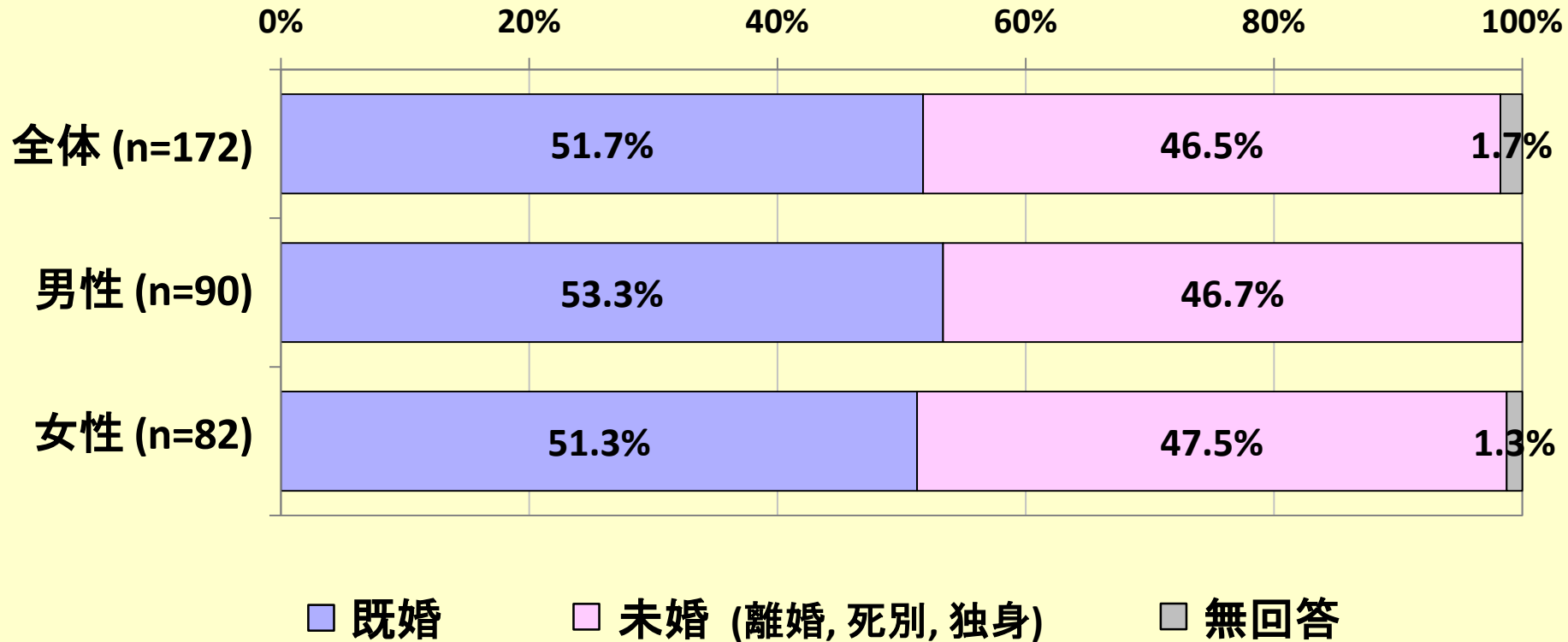
基本属性：家族構成



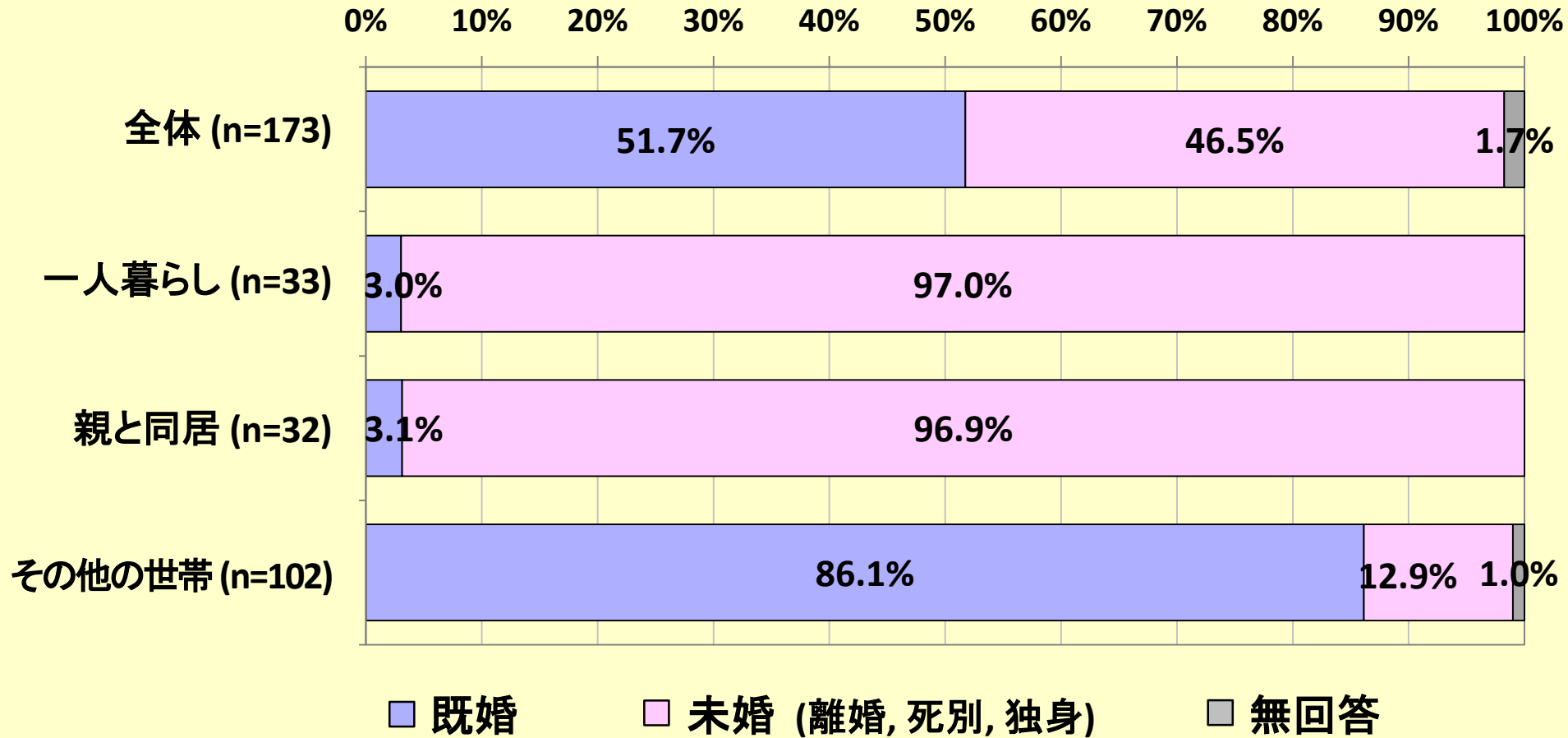
障害タイプ別の家族構成



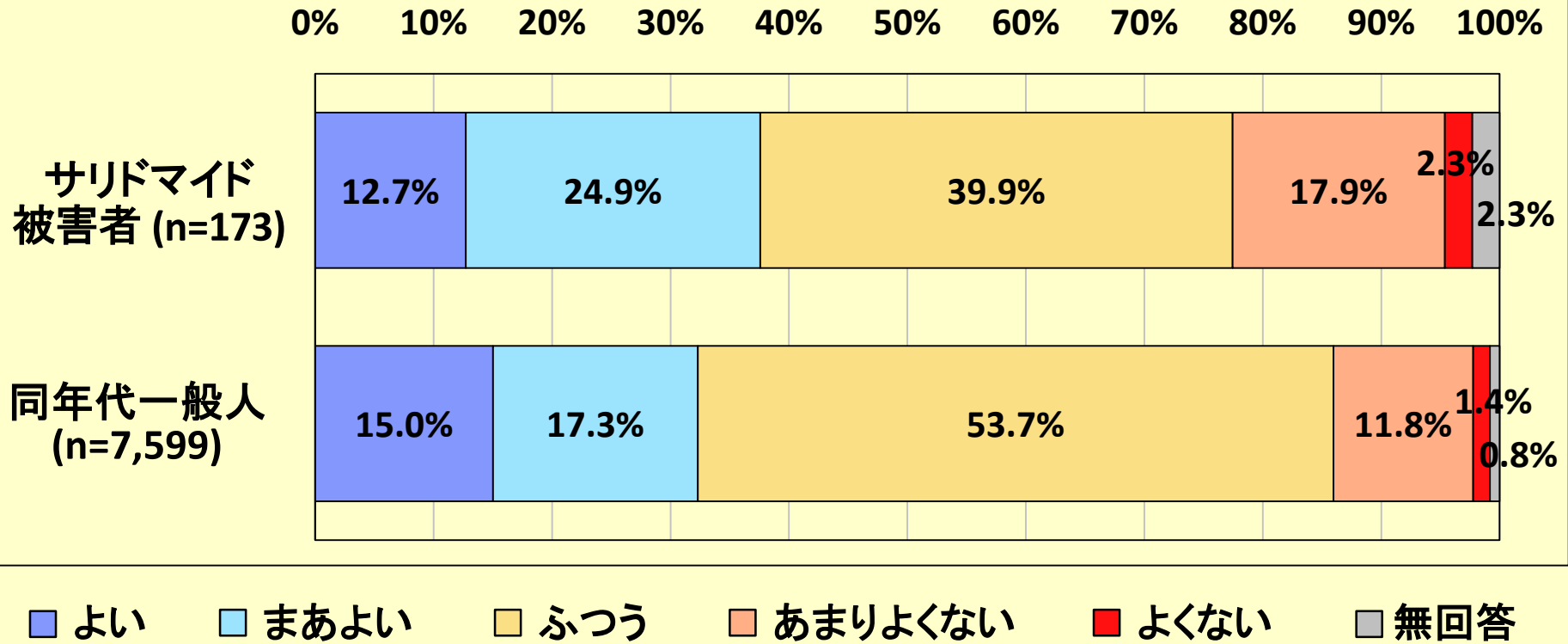
基本属性：結婚について



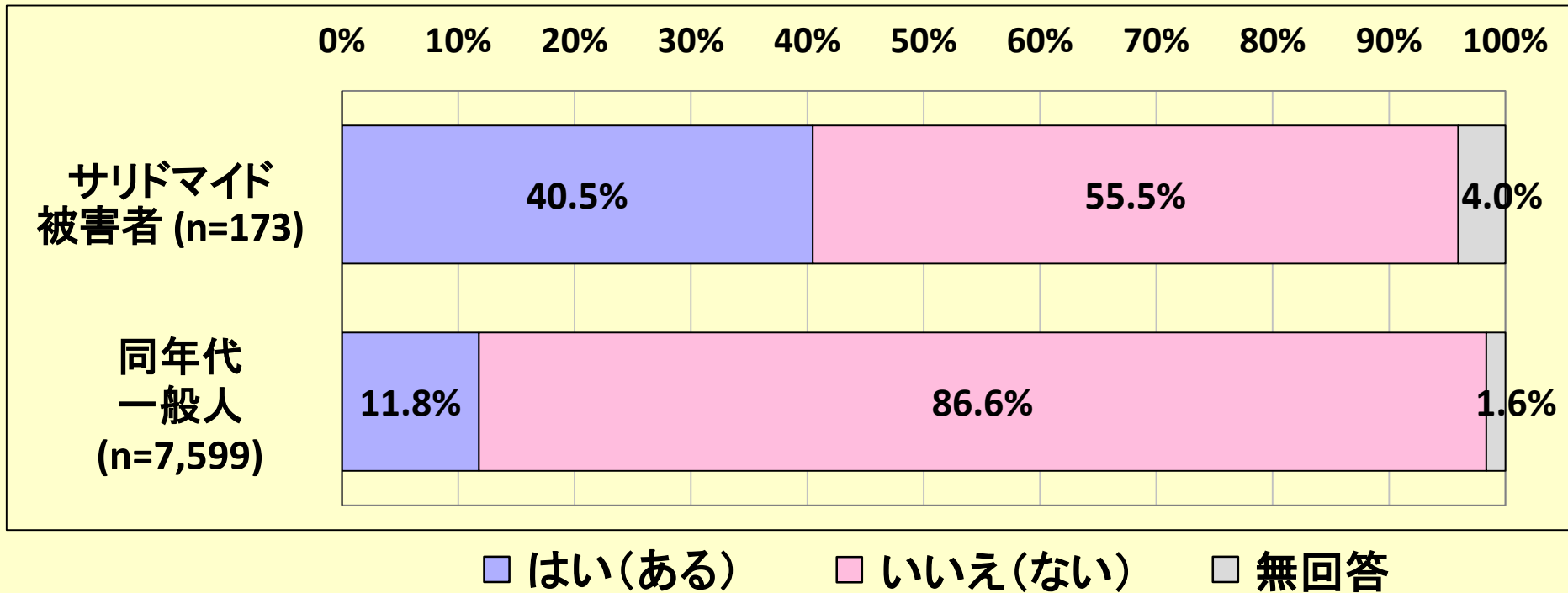
結婚の有無別の家族構成



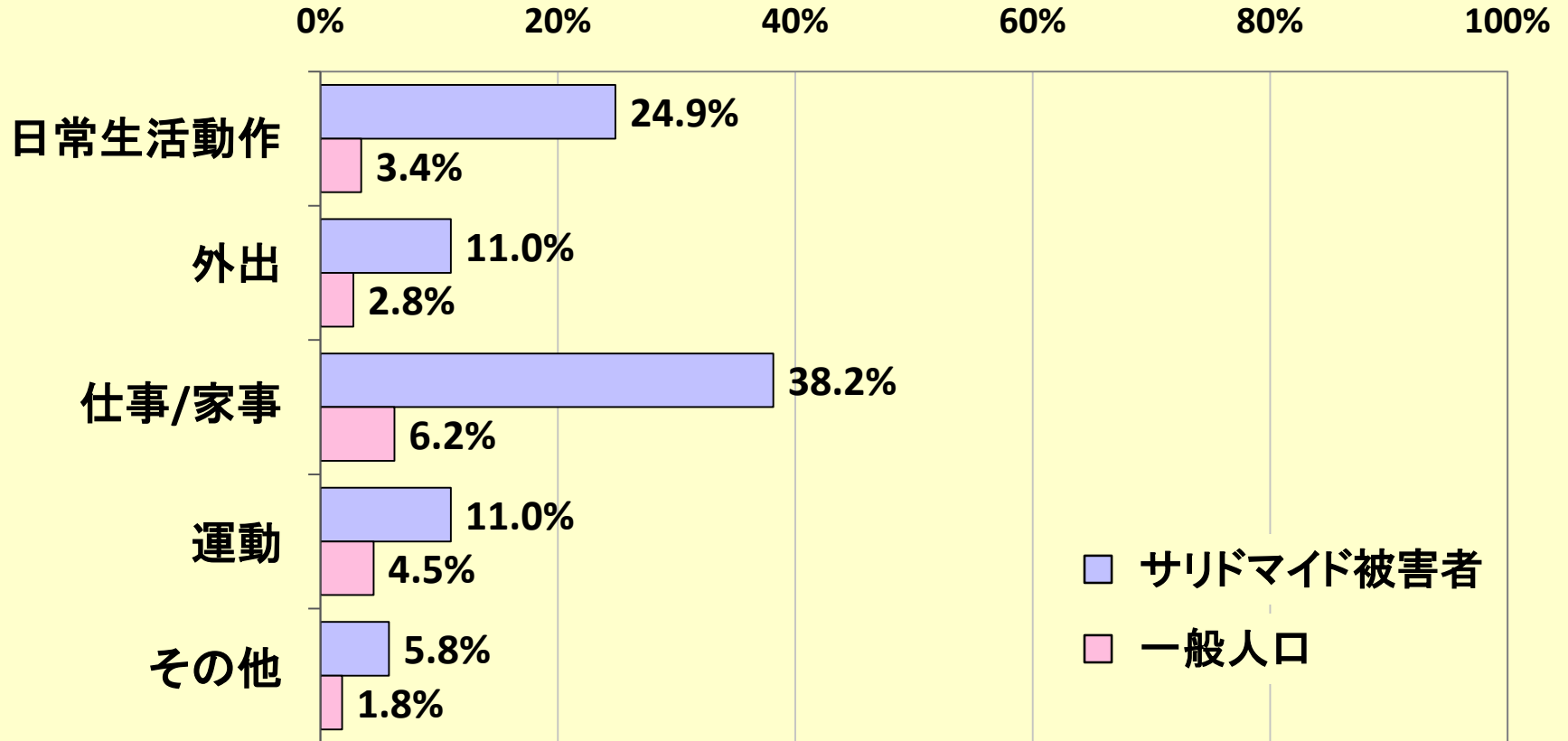
健康状態



健康上の問題の日常生活への影響



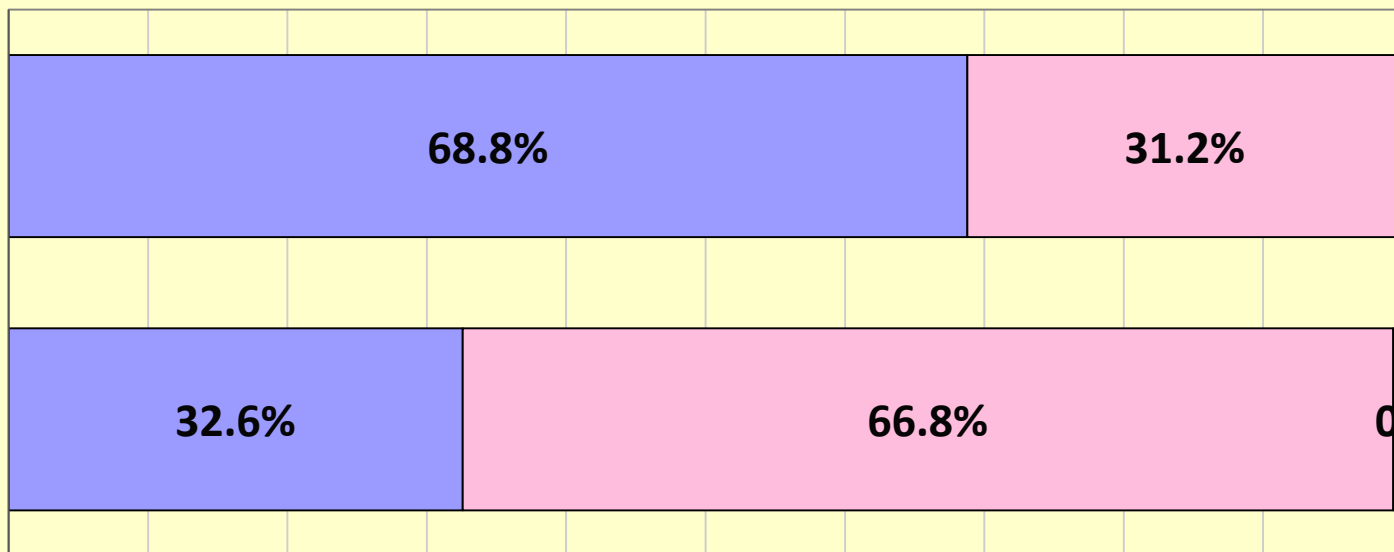
健康問題の日常生活への影響 詳細



調査時点での病気やけがの存在

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

サリドマイド
被害者 (n=173)

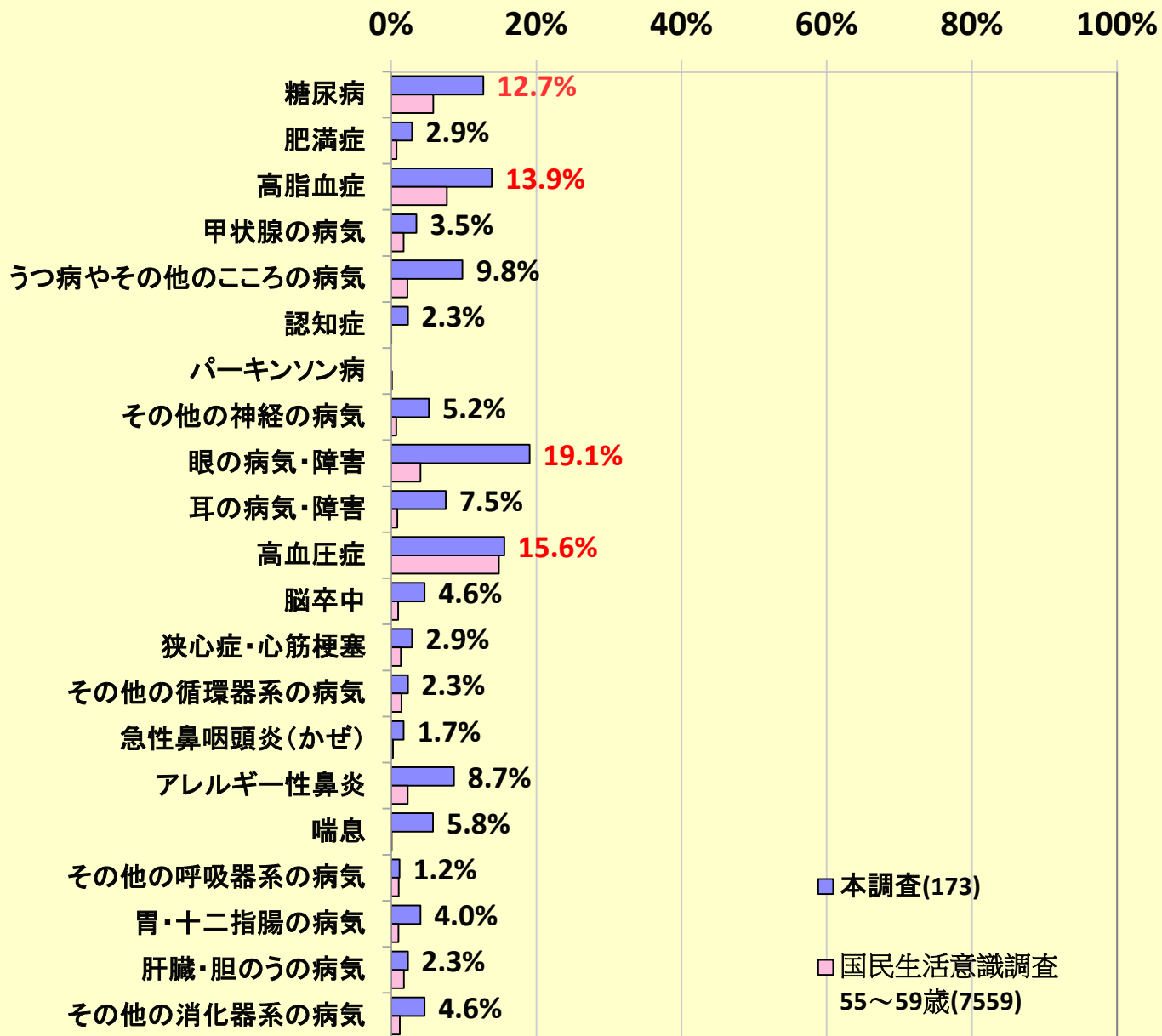


■ はい(ある)

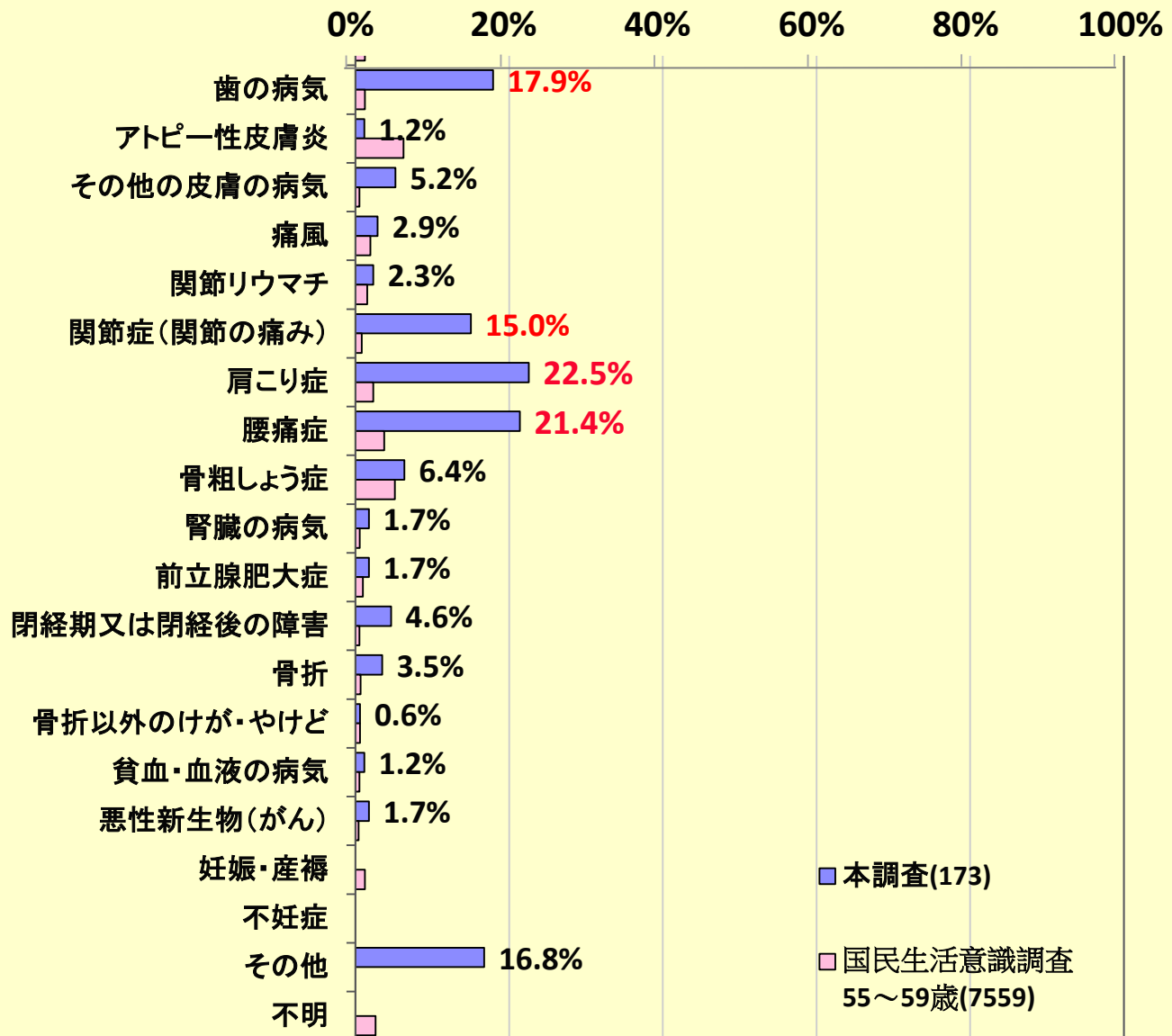
■ いいえ(ない)

■ 無回答

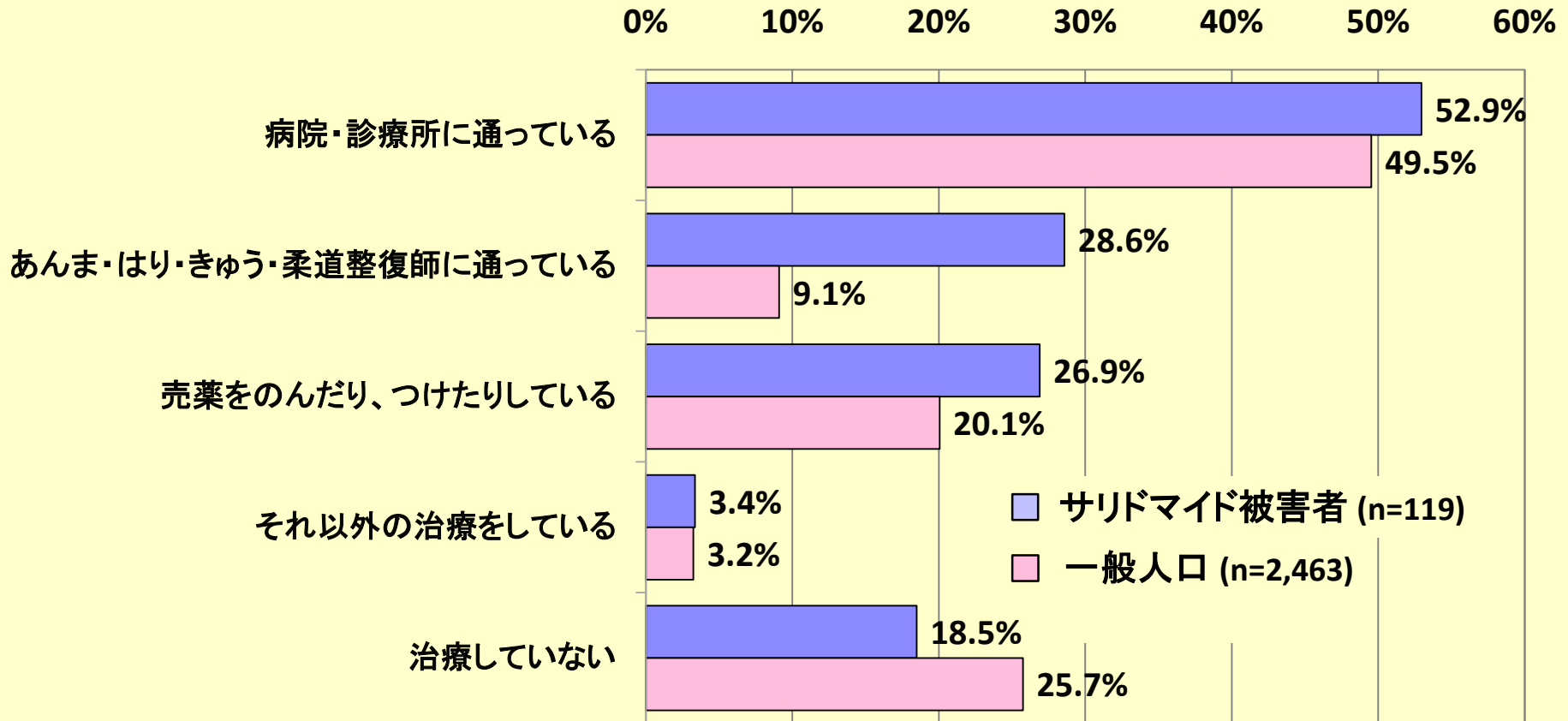
通院している傷病の内容（1）



通院している傷病の内容（2）



気になる症状・問題の通院状況



年間所得の分布

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

本調査(156)

26.3%

28.8%

20.5%

11.5%

9.0%

3.8%

国民生活意識調査
55～59歳(8560)

32.8%

21.6%

16.0%

14.6%

8.7%

6.3%

■ < ¥ 2,000,000

■ ¥ 2,000,000 ~ 4,000,000

■ ¥ 4,000,000 ~ 6,000,000

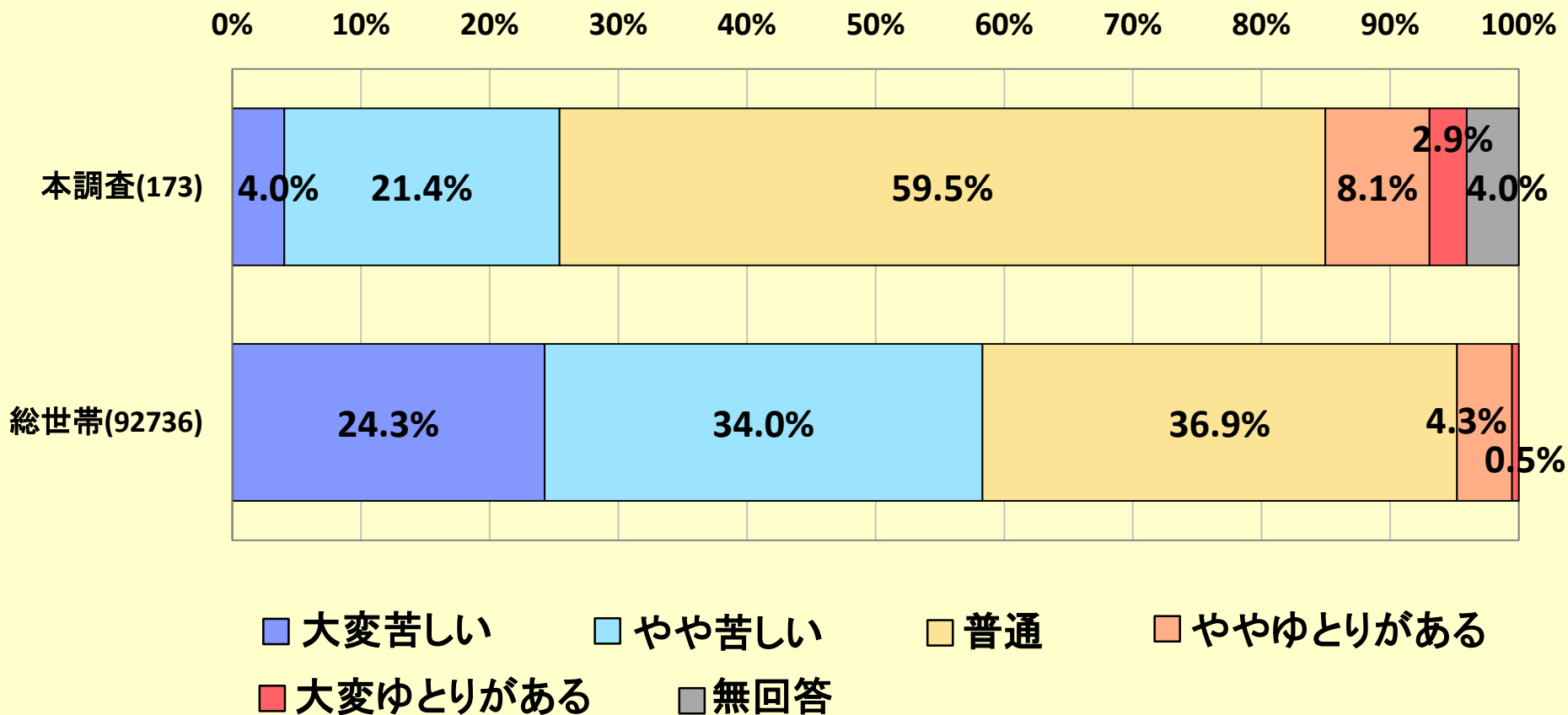
■ ¥ 6,000,000 ~ 8,000,000

■ ¥ 8,000,000 ~ 10,000,000

■ > ¥ 10,000,000

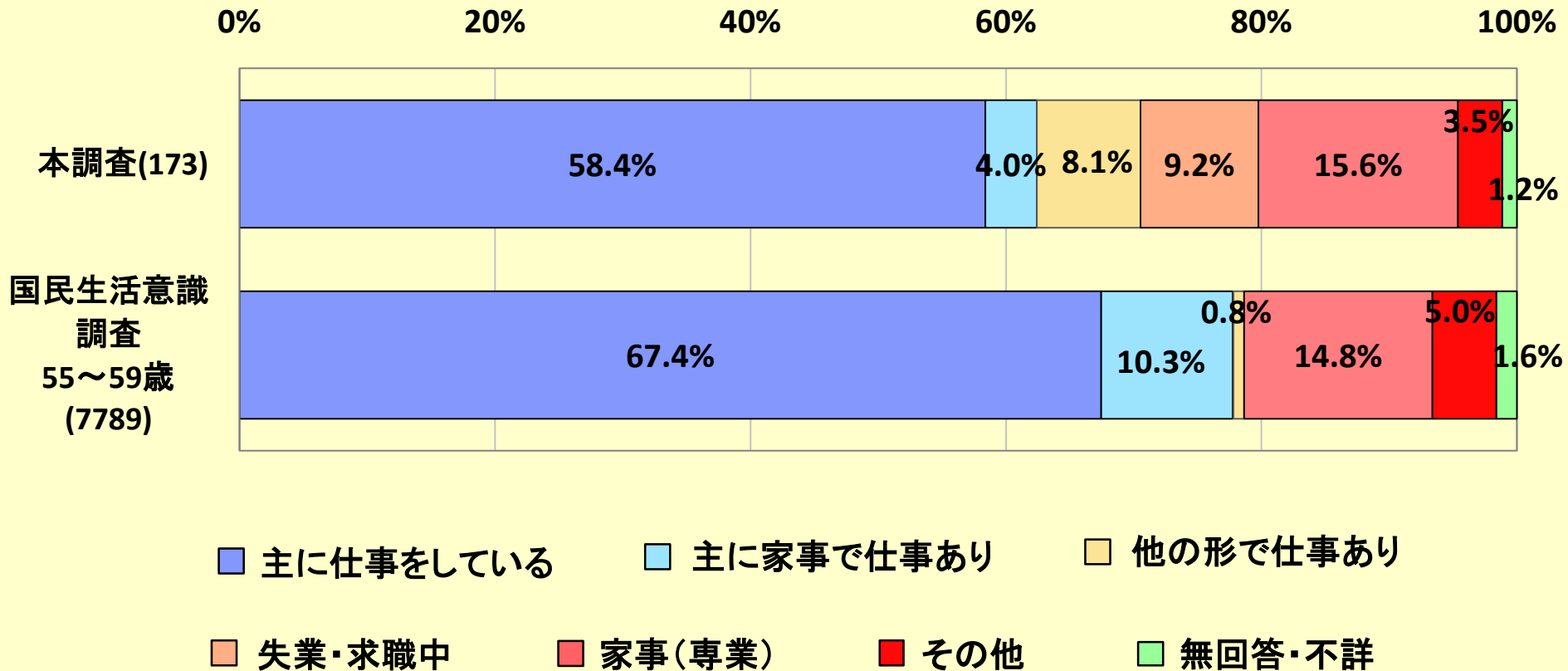
* サリドマイド被害者と一般人口の間で所得分布の有意差はない

総合的な暮らしの状況



* 本項目はすべての一般人口年齢層との比較であるが、サリドマイド被害者は一般人と比べて、最近の自分自身の暮らしが「苦しい」とは感じていない傾向がある。

現在の仕事の状況



悩みやストレス

